

天小だより

命輝き 笑顔あふれる 天神川小学校

令和7年12月25日

伊丹市立天神川小学校



校長 徳田 達郎 【天小ホームページ】

「良いお年をお迎えください」に込められた願い

本日の終業式では、子どもたちに「良いお年をお迎えください」という言葉の意味について話をしました。年末になると何気なく交わすこの挨拶ですが、実は日本の伝統文化と深い関わりがあります。

「歳神様」をお迎えする準備

古くから日本には、お正月になると「歳神様(としがみさま)」という神様が、それぞれの家庭に健康と幸せを運んてくると伝えられています。

子どもたちに次のようなクイズを出しながら解説しました。

- ①大掃除をするのは?…歳神様に「私の家に気持ちよく来てください」と願うため。
- ②門松を飾るのは?…歳神様が迷わないように「ここがお家ですよ」と目印にするため。
- ③鏡餅を飾るのは?…お家に入ってきた歳神様が、「ちょっと休憩しよう」と座る場所にするため。

これらは単なる形式ではなく、家族の幸せを願う先人の「心」そのものです。

未来を拓く言葉

「良いお年をお迎えください」という挨拶には、「幸せを運んしてくれる歳神様を、気持ちよくお迎えできますように」、そして「あなたの新しい1年が幸せでありますように」という、相手を思う温かい願いが込められています。

学習指導要領(特別活動)においても、伝統や文化について理解を深める態度を養うことが目標とされています。

今回の話を通して、子どもたちが日本の伝統文化に触れ、言葉一つひとつに込められた「相手を思いやる心」を感じ取ってくれたらと願っています。

ご家庭でも、大掃除やお正月飾りをする際に、話題にしていただければ幸いです。

保護者の皆様も、よいお年をお迎えください。